

緑や樹木に関する記事 20-119

幻想的な「桜のトンネル」 伊豆高原

桜の名所として知られる伊東市の「伊豆高原桜並木」で、ソメイヨシノが見頃を迎えた。桜は伊豆急行が1964年に伊豆高原駅から大室山へ通じる全長3キロの沿道に植えたそうだ。

小山城の桜満開 吉田

吉田町片岡の観光施設「展望台小山城」がある能満寺山公園で、ソメイヨシノなど約35本の桜が満開を迎えた。見頃は今週末頃までの見込みだそうだ。

ウコンザクラ咲き始め 静岡市葵区

静岡市葵区の「県護国神社」で、珍しい薄黄緑色の花をつける「ウコンザクラ」が咲き始めた。ウコンザクラの花は薄い黄緑色から、咲き終わりにはピンク色に変色するのが特徴。境内社務所前に植栽されており、30日現在には約五分咲き、今後10日間は楽しめるそうだ。

(令和3年3月31日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-118

桜 霊峰と共演 富士

富士市の「龍巖淵(りゅうがんぶち)」付近の桜が満開を迎えた。龍巖淵周辺の潤井川左岸約400メートルの区間にソメイヨシノが咲き誇り、霊峰と共演をしている。

桜並木満開 東伊豆

東伊豆町稲取の「町カントリーコース」で、ソメイヨシノが見頃を迎えた。コースのスタート地点から約400メートルの両側に110本の桜並木が連なっており、町民らが満開の桜を楽しんでいる。

優雅な桜トンネル 静岡市葵区

静岡市葵区の「水見色川沿いの桜並木」が満開を迎え、好天だった29日には市民らが多数訪れたそうだ。

遊歩道に春色「アーチ」 静岡市駿河区

静岡市駿河区広野の「丸子川沿いのソメイヨシノ」が満開を迎えた。およそ500メートルにわたり植えられた約90本のソメイヨシノが「桜のアーチ」を作り上げているそうだ。

(令和3年3月30日 静岡新聞 朝刊)

静岡地方気象台 桜の「満開」を発表

「静岡地方気象台」は28日、静岡市駿河区の気象台敷地内のソメイヨシノが満開になったと発表した。例年より6日早く、昨年よりも10日早かった。

(令和3年3月29日 静岡新聞 朝刊)

東伊豆でヒスイカズラ開花

東伊豆町の「熱川バナナワニ園」で、ヒスイカズラが開花した。フィリピン原産のマメ科のつる植物で、宝石のヒスイのような鮮やかな青緑色をした勾玉(まがたま)に似た形の花が房状に咲く。花は5月上旬ごろまで楽しめるそうだ。

(令和3年3月29日 中日新聞 朝刊)

松崎 ヨメイヨシノ見頃

松崎町的那賀川沿いに並ぶ約1200本のソメイヨシノが見頃を迎えている。桜並木は約6キロにわたり咲き誇っており、4月10日ごろまでライトアップを行うそうだ。

(令和3年3月28日 中日新聞 朝刊)

春の訪れ しだれ桜満開 久能山東照宮

静岡市駿河区根古屋の「久能山東照宮」で、淡いピンク色のしだれ桜が満開を迎えた。例年より1週間ほど早いそうだ。

(令和3年3月26日 静岡新聞 朝刊)

チューリップ見頃 吉田公園

大井川の河口にある「県営吉田公園」(吉田町)でチューリップの花が見頃を迎え、来場者が春のひと時を楽しんでいる。園内には50種、約10万本の花が咲いており、4月初旬まで見頃だそうだ。

菜の花 掛川で満開

掛川市の市文化会館シオーネ西側の「そよかぜ広場」で菜の花約3万本が見頃を迎えている。2.3ヘクタールの一面が鮮やかな黄色に染まり、近くの桜も咲き始めている。花は3月末まで楽しめるそうだ。

(令和3年3月26日 中日新聞 朝刊)

東伊豆町の大スギ県文化財に

県文化財保護審議会が24日開催され、東伊豆町奈良本の国有林内にある「シラヌタの大スギ」を県指定文化財に追加するよう県知事に答申した。大スギは幹回りが約8.5メートル、樹高は約40メートルで、幹回りでは県内で8番目の巨木だそうだ。

(令和3年3月25日 中日新聞 朝刊)

三保にフランス海岸松 静岡市清水区

静岡市清水区三保の「御穂神社」で、欧州原産のフランス海岸松が生育しているのがわかった。高さ16メートル、幹の直径60センチの大木だが、境内に植えられた経緯は不明だそうだ。

フランスで能「羽衣」の公演に力を注いだ舞踏家、エレーヌ・ジュ格拉リスを顕彰する石碑が建立された1952年頃に植えられたと推測しているが、経緯は不明で「三保松原保全研究所」では情報提供を求めているとのこと。

(令和3年3月24日 静岡新聞 朝刊)

山間の一本桜孤高の美

牛代の水目桜 島田市

島田市川根町家山の「牛代(うししろ)の水目桜(みずめさくら)」が例年に比べ、約1週間早く満開を迎えている。桜は推定樹齢300年以上のエドヒガンで、高さ約20メートル、目通り約4.2メートルで市の天然記念物に指定されているそうだ。

「聖一国司」生家しだれ桜見頃 静岡市葵区

静岡市葵区柘沢で、静岡茶の始祖とされる鎌倉時代の高僧「聖一国司」の生家の一角にある推定樹齢300年というしだれ桜の花が、見頃を迎えた。高さ約20メートル、枝張り17メートルほどの枝から濃い桃色の花が折り重なるように垂れ下がっている。

(令和3年3月23日 静岡新聞 朝刊)

カタクリ見頃 島田

島田市金谷富士見町の「牧之原公園」内のカタクリ園で、市の天然記念物に指定されているカタクリが紫色の花を咲かせ、見頃を迎えている。開花のピークは28日前後の見通しがそうだ。

(令和3年3月23日 中日新聞 朝刊)

樹齢100年しだれ桜見頃 三島

三島市中田町の「佐野美術館」の庭園で、樹齢100年を超えるしだれ桜が見頃を迎えている。庭園は無料開放され、午後9時までライトアップされているそうだ。

(令和3年3月22日 静岡新聞 朝刊)

熱海梅園梅まつり 有料入場者過去最少

熱海市は「第77回熱海梅園梅まつり」の有料入園者が、4万2千950人で有料入園が始まってから過去最少だと発表した。新型コロナウイルス感染症に伴う首都圏などの緊急事態宣言発令により団体客が大幅に減ったためだそうだ。

(令和3年3月22日 中日新聞 朝刊)

静岡 春分に桜開花

静岡地方気象台は20日、静岡市で桜(ヨメイヨシノ)の開花が観測されたと発表した。昨年より7日早く、平年より5日早い。満開は1週間から10日後を見込んでいる。

(令和3年3月21日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-113

花桃トンネル 天竜で春満開

浜松市天竜区の「天竜相津花桃の里」で、濃いピンク色に染まったハナモモがほぼ満開となった。住民団体が2005年ごろ船明ダム湖沿いにある高台の農地に500本を植栽したものを、現在近くの道の駅の運営会社が手入れをし無料開放しているそうだ。花は3月末まで見頃が続くとのこと。

(令和3年3月12日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-112

梅の香りに誘われて 裾野

裾野市須山の「梅の里」で梅の花が見頃を迎えている。約5ヘクタールの敷地内に白加賀や八重寒梅などの品種が計700本植えられている。花は2月下旬ごろから咲き始め、3月に入ってから温暖な天気で一気に開花が進んだそうだ。

紅白の梅20種1000本 修善寺

伊豆市の「修善寺梅林」の一部で見頃が続き、かれんな紅白の花を楽しめる。総面積約3万平方メートルの丘陵地に20種類約1000本の梅が植えられている。

(令和3年3月10日 静岡新聞 朝刊)

春告げる紅白のウメ 伊東

伊東市の松川湖畔にある「梅の広場」で、紅白のウメの花がさわやかな香りを漂わせながら見頃を迎え、散策する人を楽しませている。広場には紅白のウメが合わせて約200本植栽されているそうだ。

(令和3年3月10日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-111

ハクモクレン見頃 浜松

啓蟄の5日、浜松市北区の通称・モクレン通りではハクモクレンが見頃を迎えている。約10キロに街路樹として植えられているハクモクレンは、長さ4、5センチほどの大きな白い花を上向きに咲かせている。例年なら花は3月中は楽しめるそうだ。

「掛川桜」見頃

掛川市の中心部を流れる逆川沿いで、早咲きの「掛川桜」が見頃を迎えている。掛川桜は同時期に咲く河津桜に比べると、一回り小さな濃いピンク色の花が手まり状に垂れ下がるのが特徴。今年は開花が少し早く現在ほぼ満開、花は3月上旬ごろまで楽しめるそうだ。

(令和3年3月6日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-110

田んぼの花々お裾分け 松崎

色とりどりの花に心をなごませてほしいと松崎町の春のイベント「田んぼをつかった花畑」実行委員会が、刈り取った花を町内の飲食店や小中学校に無償で届ける活動に力を入れている。花畑は2月中旬からアフリカキンセンカやルリカラクサなど次々に開花しており、数人の実行委員が手分けして花を刈り、花かごに入れて提供するそうだ。

(令和3年3月3日 静岡新聞 朝刊)

淡いピンク大寒桜 伊豆高原

伊東市の伊豆急行「伊豆高原駅」周辺で、約200本ほどの大寒桜が淡いピンク色の花を咲かせて道行く人たちを楽しませている。大寒桜は、緋寒桜と大島桜の交配種で、中輪の花を一重に咲かせるのが特徴だそうだ。見頃は今月上旬ごろまでとのこと。

(令和3年3月3日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-109

神山のクスノキ景観重要樹木に 御殿場

御殿場市は、同市神山の神山地区生涯学習センター敷地内のクスノキを景観重要樹木に指定した。明治時代に植樹されたと伝わっているクスノキは樹高22メートルあり、2本の木の枝葉が交わり1本の木のように成長しているそうだ。

(令和3年3月2日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-108

ご神木の遺伝子継承

湖西市新居町の「諏訪神社」で27日、樹勢が衰えたご神木の木から森林総合研究所育種センター（茨城県日立市）が挿し木や接ぎ木で増殖したケヤキの遺伝子を持つ後継樹の苗木が植えられた。ケヤキの苗木は神社近くの新居中学校にも植栽されたそうだ。

（令和3年2月28日 中日新聞 朝刊）

巨大クスノキ後世へ

静岡市葵区の「若宮八幡宮」は、静岡市の天然記念物に指定されている推定樹齢千数百年のクスノキを保護するため、木の周囲の土壌改良を行った。クスノキは高さ約26メートル、幹回り約11メートルの巨木で、徳川家康も木陰で休んだとの言い伝えがあるそうだ。

（令和3年2月27日 静岡新聞 朝刊）

緑や樹木に関する記事 20-107

静かに味わう春二色 浜松

浜松市西区大山町を流れる花川沿いの堤防で、ピンクの河津桜と黄色い菜の花が競演し、訪れた人たちに春の訪れを感じさせている。河津桜は約1キロにわたり400本ほどが植わり、菜の花は約3000平方メートルの休耕田を埋め尽くしている。

島田市役所で「帯桜」見頃

島田市役所東脇に咲く「帯桜」が見頃を迎えている。1978年の市政30周年を記念して植樹された桜で、開花時期は例年より1週間ほど早く27日には満開を迎える見込みだそうだ。

桜と梅が競演 御前崎

御前崎市下朝比奈の「あらさわふる里公園」で、満開に近づいた早咲きの桜とすだれ梅が咲き競っている。「あらさわ紅桜」と名付けた早咲き桜は、散策路を中心に180本ほど植わっており、4月にかけて陽光桜、山桜、ソメイヨシノなど50本も開花するそうだ。レストラン前にある樹齢90年の「寿の紅梅」は満開となっている。

ピンクの河津桜 掛川・田ヶ池

掛川市中の田の池西側のり面に植えられている河津桜並木が、ほぼ満開を迎え、多くに見物客でにぎわっている。池西側の遊歩道沿い約300メートルに30本が並ぶ桜は、1996年に旧大東町の睦三区の住民有志が植樹した桜だそうだ。

（令和3年2月26日 中日新聞 朝刊）

緑や樹木に関する記事 20-106

沼津中心部 河津桜見頃

沼津市中心部の上本通り沿いで、地元住民が管理する河津桜の花が見頃となっている。8年前から約40本の河津桜を植栽しており、現在は2～3メートルの高さに成長し、鮮やかなピンク色の花が通行人を楽しませているようだ。

(令和3年2月25日 静岡新聞 朝刊)

河津桜見頃 御前崎

御前崎市池新田の浜岡砂丘白砂公園近くにある河津桜の並木が八分咲きになった。太平洋自転車道沿いに600メートルに230本植わっており、2月中が開花のピークだそうだ。

(令和3年2月25日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-105

梅と富士山競演 富士・岩本山公園

富士市の「岩本山公園」の梅園が見頃を迎えている。園内には約30種計300本の梅の木があり、紅白さまざまな色彩の花を付けている。2月末までが見頃だそうだ。

桜と景色満喫 函南

函南町の柿沢川沿いに並ぶ410本の河津桜が見頃となり、3月8日まで「かなみの桜まつり」が開かれている。2月末頃に最盛期を迎えるそうだ。

桜のトンネル春うらら 静岡

静岡市葵区の「麻機遊水地」では、河津桜約200本がピンク色のトンネルとなっている。

(令和3年2月23日 静岡新聞 朝刊)

しだれ桜見頃 掛川・龍尾神社

しだれ梅の名所で知られる掛川市下西郷の「龍尾神社」の梅園が、見頃を迎えている。白や赤、ピンクのしなやかな梅約300本が七分咲きとなり、来園者に春の到来を知らせている。見頃は3月上旬まで続くそうだ。

しだれ梅見頃 浜松

浜松市西区の「大草山昇竜しだれ梅」では、見頃を迎えた約40本のしだれ梅による長さ20mほどの梅トンネルが来年者を楽しませている。3月上旬まで楽しめるそうだ。

(令和3年2月23日 中日新聞 朝刊)

菜の花と海 熱海絶景

熱海市上多賀の観光農園「アカオハーブ&ローズガーデン」で菜の花が見頃を迎えた。3月前半頃まで楽しめる見込みだ。

紅白競演 浜松の梅園

浜松市西区館山寺の「はまつフラワーパーク」では、梅園の紅白の梅が見頃を迎え、来園者を楽しませている。同園では120アールの梅園に110品種約300本の梅の木が植わっており、遅咲きの品種を含めて3月上旬まで見頃が続くそうだ。

(令和3年2月22日 中日新聞 朝刊)

河津桜 満開

「河津桜まつり」が中止となった河津町で、河津桜が満開を迎えている。河津川沿いの約850本の桜並木は、河口周辺を中心に満開、一部では散り始めた木もあるそうだ。

(令和3年2月21日 静岡新聞 朝刊)

かれんな紅白梅見頃 伊東

伊東市の修善寺梅林で梅の花が見頃を迎えている。総面積3万平方メートルの丘陵地に20種類約千本の梅の木が植えられおり、3月7日まで梅まつりが開かれているそうだ。

(令和3年2月20日 静岡新聞 朝刊)

伊東小室桜 母樹満開

伊東市吉田の萩原農園で、早咲きの種のサクラ「伊東小室桜」の母樹が満開を迎えた。伊東小室桜は、1988年に市内にある小室山の中腹斜面で偶然見つかったもので、花が4~5センチと大きく、淡い紅紫色の花を咲かせるのが特徴だそうだ。

(令和3年2月20日 中日新聞 朝刊)

静岡県 移住者 庭緑化で助成制度

静岡県はコロナ禍を契機にした働き方や暮らし方の変化を捉え、移住者が165平方メートル(50坪)の既存住宅を購入または借用し、30平方メートル(約9坪)以上の庭を緑化整備する費用の3分の1(上限15万円)を助成する制度を創設すると明らかにした。

(令和3年2月19日 静岡新聞 朝刊)

寒さに耐えツバキ 浜松

浜松市浜北区の「万葉の森公園」では、18日氷点下1度を記録したが北風が遮られる東側斜面に200種400本ほどのツバキが植えられ、鮮やかな赤い花を咲かせている。花は3月上旬まで楽しめるそうだ。

河津桜が七分咲き 御前崎

御前崎市比木東原地区の福田沢川沿いに整備された散策路「散歩道福田沢」の桜並木で、早咲きの河津桜が七分咲きとなった。長さ1.5キロの散策路では、5月下旬までしだれ桜や牡丹桜、八重桜など12品種600本ほどが順次開花していくそうだ。

(令和3年2月19日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-102

今年は早め 桜開花予想

民間気象会社「ウェザーニューズ」は16日、今年の桜(ソメイヨシノ)の開花予想を発表した。昨年末から今年の1月上旬にかけて、日本列島にたびたび強い寒気が流入したことで、寒さで桜の芽が目覚める「休眠打破」が進み、3月の気温が平年並みかやや高い予想のため、全国的に平均より早くなる見込みだそうだ。

(令和2年2月17日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-101

梅と桜が競演 三島

三島市中田町の食事どころ「せせらぎ亭」で、しだれ梅と河津桜が見頃を迎えている。せせらぎ亭の日本庭園にはしだれ梅53本と河津桜12本が植えられ、現在は五分咲き程度だそうだ。

(令和3年2月13日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-100

春一足早く 熱海

熱海市の「熱海梅園」で、早咲きの梅が見頃を迎えている。園内に植栽されている469本のうち、8日時点で429本が開花しているそうだ。3月7日まで梅まつりが開催されているとのこと。

(令和3年2月12日 静岡新聞 朝刊)

河津桜と菜の花共演 南伊豆

南伊豆町の青野川沿いでは、一部の河津桜が六分咲きとなり、黄色い花と競うように咲き誇っている。「第23回みなとの桜と菜の花まつり」も3月10日まで開催されているそうだ。

紅白の梅ほころぶ 沼津

沼津市の「沼津御用邸記念公園」で、梅の花が咲き始めている。梅園に植えられた15種約140本が、四分咲きになって花をほころばせている。1月以降暖かい日が多く、例年より1週間ほど早く開花が進んでいるそうだ。

(令和3年2月11日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-99

休耕田 鮮やかな黄色 沼津

沼津市平沼の「浮島ひまわりらんど」で、菜の花が見頃を迎えている。約3500平方メートルの休耕田に鮮やかな黄色い花が咲き、訪れた人たちを楽しませている。

(令和3年2月10日 静岡新聞 朝刊)

フラワーパーク フクジュソウ見頃 浜松

浜松市西区の「はままつフラワーパーク」で、黄色い小さな花を咲かせる「フクジュソウ」が見頃を迎えている。今年は1月中旬に芽を出し、1月27日頃に昨年より3日ほど遅く咲き始め、40輪ほどが開花した。花は3月上旬まで楽しめるそうだ。

(令和3年2月10日 中日新聞 朝刊)

春すぐそこ 大知波桜 湖西市

湖西市大知波の「大神山八幡宮」で、早咲きの「大知波桜」が見頃を迎えている。かれんなピンク色も花は2月中旬ごろまで楽しめるそうだ。

(令和3年2月9日 中日新聞 朝刊)

静岡・興津の寒桜が見頃

静岡市清水区興津で寒桜が見頃を迎え、「第24回興津宿寒ざくらまつり」が14日まで開かれている。

(令和3年2月8日 静岡新聞 朝刊)

黒田家 梅まつり始まる 菊川

菊川市下平川の国重要文化財「黒田家代官屋敷」で梅まつりが始まった。2千平方メートルの梅園には紅白の150本ほどが植わり、3月7日まで無料開放されるそうだ。

(令和3年2月8日 中日新聞 朝刊)

ツリークライミング 伐採公開 裾野

裾野市須山の十里木南富士別荘地で、専門技術を使った高さ約15メートルのモミの木の伐採作業が一般向けに公開された。樹木の管理などを行うアーボリストの渡邊真威さんがツリークライミングの技術を駆使した伐採を実演した。

(令和3年2月7日 静岡新聞 朝刊)

早咲きの梅 紅白華やか 熱海梅園

熱海市梅園町の熱海梅園で、早咲きの梅が見頃を迎えている。花は今月中旬ごろまで楽しめるそうだ。

(令和3年2月7日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-98

河津桜一部咲く 南伊豆

南伊豆町の青野川沿いなどで、菜の花や河津桜が開花している。同町では2月10日から恒例の「みなみの桜と菜の花まつり」が開催されるそうだ。

「伊東小室桜」母樹が開花 伊東市

伊東市で発見された桜の固有種「伊東小室桜」の母樹がこのほど、同市吉田で開花した。年明けから比較的温暖で晴天が続いたことから、例年より10日程度早いそうだ。「伊東小室桜」は、育てる会会長の萩原氏が1988年に小室山の斜面で発見した桜とのこと。

(令和3年1月23日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-97

カエンカズラ見頃 東伊豆

東伊豆町奈良本の「熱川バナナワニ園」で、ノウゼンカズラ科のつる植物「カエンカズラ」が見頃を迎え、房状に咲いたオレンジ色の鮮やかな花が、来園者を楽しませている。花は2月中旬まで楽しめるそうだ。

(令和3年1月17日 静岡新聞 朝刊)

下田でスイセン見頃

下田市須崎の爪木崎にある群生地で、スイセンが見頃を迎えている。ピーク時には約300万本が咲き誇るそうで、花は今月いっぱいまで楽しめるとのこと。

(令和3年1月17日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-96

下田・爪木崎水仙園 見頃

下田市須崎の「爪木崎水仙園」で、群生する約300万本のスイセンが見頃を迎えている。緊急事態宣言が出た影響もあり、訪れる人はまばらだそうだ。31日まで「伊豆下田水仙まつり」が開かれている。

ロウバイ見頃 静岡

静岡市葵区の「洞慶院」では境内のロウバイの花が見頃を迎え、ウォーキングや写真撮影に訪れる人が甘く香る花を楽しんでいる。

(令和3年1月15日 静岡新聞 朝刊)

ロウバイ見頃 森町

森町の「森町体験の里アクティ森」ではロウバイが見頃を迎えつつあり、散策する人を楽しませている。施設内にはやく150本のロウバイが植えられ、昨年12月下旬ごろから花が咲き始めている。2月頃まで花は楽しめるそうだ。

(令和3年1月15日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-95

熱海・梅まつり 静かな幕開け

熱海市の熱海梅園で9日、「第77回梅まつり」が開幕した。例年に比べ開花が早く、早咲き種を中心に多くの花がほころび始めているが、一都三県の緊急事態宣言の影響で来園者は少なく、静かな幕開けとなった。市によると園内60種469本のうち、7日時点で259本が開花しており、全体の見頃は1月下旬から2月中旬ごろだそうだ。

(令和3年1月10日 静岡新聞 朝刊)

熱く色づくカエンカズラ 東伊豆

東伊豆町の「熱川バナナワニ園」で、カエンカズラが鮮やかなオレンジ色の花を咲かせ、一部で見頃を迎えている。花は3月頃まで楽しめるそうだ。

(令和3年1月10日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-94

県 東電と連携、保安伐採

「森の力再生事業」に取り組む県は東京電力パワーグリッドと連携し、函南町の山林で台風などの倒木による大停電を防ぐ「保安伐採」と荒廃した森林の整備を一体的に進めている。東京電力は年内をめどに県道熱海函南線など約680mの道路沿いで保安伐採を進めている。県も来年3月までに、近隣に広がる人工林や広葉樹林の間伐を行うそうだ。

(令和2年12月22日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-93

下田で水仙まつり開幕

下田市須崎の爪木崎水仙園で20日、「第55回下田水仙まつり」が開幕した。現在、約300万本が群生する会場のスイセンは三分咲きで、来年1月上旬に見頃を迎えるそうだ。

(令和2年12月21日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-92

早咲き土肥桜開花 伊豆

伊豆市観光協会土肥支部は14日、早咲きで知られる土肥桜の開花を確認したと発表した。開花は例年より5日ほど早く、昨年より1週間早いそうだ。

(令和2年12月15日 静岡新聞 朝刊)

キダチアロエ見頃 下田

伊豆半島でキダチアロエの花が見頃を迎えている。下田市白浜の板戸地区にあるアロエの里では、海岸近くにある約500メートルの遊歩道沿いの群生地を、真っ赤な花が彩っている。

(令和2年12月13日 中日新聞 朝刊)

冬到来「名残」紅葉鮮やか 伊豆・修善寺

伊豆市の修善寺温泉街で紅葉の見頃が続いている。市観光協会修善寺支部によると例年12月初旬までで見頃は一段落するが、ここまで続くのは珍しいそうだ。

(令和2年12月12日 静岡新聞 朝刊)

師走の熱海に春の訪れ

熱海市が日本で最も早く咲くとうたう「あたま桜」の開花が、市中心部の糸川沿いの基準木で確認された。昨季より1ヶ月近く早く、見頃は来年1月から2月上旬だそうだ。

(令和2年12月12日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-91

「あたま桜」基準木開花

熱海市は同市銀座町の糸川遊歩道に植栽してある「あたま桜」の基準木の開花を確認したと発表した。昨年より28日も早く、例年は葉が全て落ちてから開花するので今年は珍しいそうだ。花は1月下旬から2月上旬が見頃の見込みとのこと。

(令和2年12月10日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-90

ナラ枯れ 東中部深刻

県東部や中部地域でナラやカシ、シイなどの樹木が枯れる「ナラ枯れ」の被害が広がっている。一つの場所のナラ枯れは3～5年ほどで終息する上、県内に多く植生するコナラの枯死は全体の3割程度で収まるため、過剰な対策は必要ないが、道路沿いや公園などでは倒木による人的被害につながる危険があるため早期の処理が重要だそうだ。

(令和2年12月8日 静岡新聞 夕刊)

緑や樹木に関する記事 20-89

キダチアロエ 伊東で見頃

伊東市富戸の「ニューヨークランプミュージアム&フラワーガーデン」でキダチアロエの花が見頃を迎えている。同ガーデンでは1978年から栽培し、約千株が群生している。来年2月上旬ごろまで鑑賞できるそうだ。

(令和2年12月8日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-88

ヤシの木も冬支度 南伊豆・石廊崎

伊豆半島最南端の南伊豆町石廊崎周辺の県道沿いで2日、ココスヤシのこも掛け作業が行われた。冬場に強い西風が吹き付ける石廊崎では、ヤシの葉や新芽を守るために毎年、この時期にこも掛け作業をしている。こもを外す作業は来年3月ごろに行われるそうだ。

(令和2年12月4日 静岡新聞 朝刊)

ドウダンツツジ見頃 浜松

江戸時代の茶人である小堀遠州作と伝わり、遠州三名園の一つとされる長楽寺(浜松市北区細江町)の日本庭園「満天星の庭」で、ドウダンツツジ約200株が見頃を迎えた。モミジなども植えられており、日ごとに赤い色づきを増している。見頃は今月中旬までだそうだ。

(令和2年12月4日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-87

大イチョウ黄金色 静岡

静岡市葵区大原の中藁科小学校校庭の大イチョウが黄金色に色づいている。地域のシンボルである大イチョウは高さ20メートルで、樹齢は140年以上とされており、2015年には市の「景観重要樹木」の第1号に選ばれたそうだ。

(令和2年12月2日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-86

2種類の花見頃 掛川

掛川市上内田の「宝住寺」境内で、「コウテイヒマワリ」と「コウテイダリア」が見頃を迎えている。両方ともキク科の植物で、ヒマワリは黄色、ダリアは淡いピンクの花を咲かせ、12月上旬まで楽しめるそうだ。

(令和2年11月28日 中日新聞 朝刊)

アロエの花色付く 下田

下田市白浜の坂戸海岸で28日、「アロエ花まつり」が開幕した。海岸沿いの遊歩道約500メートルに群生するキダチアロエが朱色の花を咲かせている。まつりは1月7日まで開催されるそうだ。

(令和2年11月30日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-85

ツワブキ見頃 浜松

浜松市西区館山寺町の「はままつフラワーパーク」でツワブキの黄色い花が見頃を迎え、晩秋の園内を彩っている。今月上旬から咲き始め、例年なら12月上旬まで楽しめるそうだ。

紅葉ライトアップ 熱海

熱海市桃山町の MOA 美術館で、28日から紅葉のライトアップが始まる。ライトアップは28日、29日、12月4日から6日までの計5日間開催するそうだ。

(令和2年11月27日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-84

熱海市植物研究園 秋の一般公開始まる

熱海市相の原町の「市村清新技術財団・植物研究園」で23日、秋の一般公開が始まった。約1万2千平方メートルの園内には、イロハモミジなど110種余りの植物が植えられている。公開は29日までだそうだ。

ヒマラヤ桜満開 三島

絶滅危惧種ミシマバイカモの群生地「三島梅花藻の里」で、ヒマラヤ桜が満開になっている。見頃は12月中旬まで続くそうだ。

(令和2年11月24日 静岡新聞 朝刊)

紅葉見頃 森町

森町橋の「大洞院」では、23日「紅葉まつり」が開かれた。30日まで夜のライトアップがおこなわれるそうだ。

(令和2年11月24日 中日新聞 朝刊)

リトルエンジェル 3色に変化

下田市の「寝姿山自然公園」で、リトルエンジェルの花が見頃を迎えている。リトルエンジェルは、紫からピンク、赤紫へ花の色が変わることからサンショクノボタンとも呼ばれている。山頂付近の遊歩道には約800株が植えられており、見頃は12月上旬まで続くそうだ。

(令和2年11月23日 静岡新聞 朝刊)

秋色じゅうたん 菊川

菊川市中内田の道路沿いにあるイチョウ並木が黄色に色づき、秋の深まりを感じさせる。イチョウは周辺に150本ほどあるそうだ。

(令和2年11月23日 中日新聞 朝刊)

渋川大イチョウ 黄金色

旧渋川小学校跡地の近くで、樹齢650年を越す古木のイチヨウが黄金色に色づき、晩秋を彩っている。高さ20メートルのイチヨウは、以前神社の神木だった木を旧渋川小が建設されたのを機に、学校そばに移植したそうだ。

(令和2年11月22日 中日新聞 朝刊)

深まる秋 藤枝滝ノ谷

紅葉の名所として知られる藤枝市の瀬戸川支流にある滝ノ谷不動峡のモミジが色づき、真っ赤な葉を風になびかせている。紅葉は十二月上旬まで楽しめるそうだ。

(令和2年11月21日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-83

100年ぶり絶滅種発見 奄美大島

鹿児島大学等の研究グループは環境省のレッドリストで絶滅種に分類されているイラクサ科の小低木「ホソバノキミズ」が約100年ぶりに見つかったことを明らかにした。本種は中国、台湾などに広く分布するが、国内では100年前に奄美大島と沖縄で採取された標本があるだけであったそうだ。

(令和2年11月19日 静岡新聞 夕刊)

修善寺の紅葉ライトアップ

伊豆市の「修善寺虹の里」で、紅葉シーズンに合わせた夜間庭園「もみじライトアップ」が始まった。12月3日までの午後4時～9時の時間に開催しているそうだ。

(令和2年11月20日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-82

色づく安部奥 静岡市梅ヶ島

静岡市葵区梅ヶ島で紅葉が見頃を迎えている。モミジが街道沿いに群生するコンヤ温泉や新田温泉周辺では10月中旬に紅葉が始まり、今がピークだそうだ。

(令和2年11月17日 静岡新聞 夕刊)

緑や樹木に関する記事 20-81

ヒマラヤザクラ 熱海で見頃

熱海市渚町の親水公園などで、ネパールの故ビレンドラ元国王から贈られた種で育てた「ヒマラヤザクラ」が見頃を迎えている。種は過去に伊東市を訪れた元国王に献上した熱海のサクラとウメの返礼として贈られものだそうだ。見頃は12月初旬まで続くとのこと。

(令和2年11月16日 静岡新聞 朝刊)

四季桜見頃 浜松

浜松市天竜区の「光明寺」で、モミジとともに四季桜が見頃を迎えた。2004年の大黒殿などの改修の際に、4本だった四季桜を20本余り増やしてそうだ。見頃は12月初旬までとのこと。

(令和2年11月16日 中日新聞 朝刊)

熱海梅園もみじまつり始まる

熱海市の「熱海梅園」で14日、恒例の「もみじまつり」が始まった。園内には約380本のイロハモミジなどが植えられており、まつりは12月6日までだが、もみじの見頃は11月末頃の見通しだそう。

(令和2年11月15日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-80

熱海梅園もみじまつり

熱海市梅園町の「熱海梅園」で14日、恒例のもみじまつりが始まる。12月6日まで開催されるが、今月下旬以降が見頃だそう。「日本一遅い紅葉」といわれ、園内にはカエデ類約380本が植えられている。

ポリビアンヒマワリ見頃 菊川

晩秋に鮮やかな黄色い花を咲かせる中南米原産のキク科の「ポリビアンヒマワリ」が菊川市の個人所有の休耕地で見頃となっている。

(令和2年11月13日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-79

オウムカズラ見頃 東伊豆町

東伊豆町の「熱川バナナワニ園」でツル植物の「オウムカズラ」が見頃を迎えて、オレンジ色よりやや赤みがかった鮮やかな色の花が来園者の注目を集めている。ニューギニア島が原産地のマメ科の植物で、花は今月下旬ごろまで楽しめるそう。

(令和2年11月12日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-78

秋バラ6000株 甘い香り

河津町の町営バラ園「河津バガテル公園」で、秋バラが見頃を迎えている。秋バラは長く花が咲き、11月中旬過ぎまで楽しむことが出来るそう。園内には約1100種、6000株が植栽されている。

(令和2年11月11日 静岡新聞 朝刊)

熱海梅園で白い花が十輪咲き始め

日本一の早咲きと言われている熱海市梅園町の「熱海梅園」で、梅の花が咲き始めている。7日に今シーズン初の開花が確認されたが、記録のある2004年以降では最も早い開花だそうだ。10日には直径1.5～2センチ程度の白い花が十輪ほど咲いており、早咲きの見頃は1月末ごろの見込みとのこと。

(令和2年11月11日 中日新聞 朝刊)

ざる菊で「霊峰」表現 富士宮

富士宮市下条の畑の「ざる菊(クッションマム)」で世界遺産富士山をかたどったアートが現れた。地元農地保存会が6月頃に約800株のざる菊を植え、丹精込めた手入れを重ねるもので、赤、黄、白の3色のざる菊を使って、山頂に雪を抱いて陽光を受けた「赤富士」を描き出したそうだ。11月中旬まで楽しめるとのこと。

(令和2年11月10日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-77

冬支度松並木こも巻き 三島

冬場の病害虫駆除を目的に三島市で1970年から続く風物詩「こも巻き」が7日、国道1号沿いの箱根松並木で行われた。江戸時代が起源の松並木は現在305本が並んでいるそうだ。

(令和2年11月8日 静岡新聞 朝刊)

浜松でジュウガツザクラ

浜松市北区の都田テクノロード沿いには、春と秋の年2回花を咲かせる「ジュウガツザクラ」が、道行く人たちの目を楽しませている。

(令和2年11月8日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-76

ドウダンツツジ 深まる秋 島田

島田市千葉の千葉山ハイキングコース沿いの「どうだん原」で、約8千本が群生するドウダンツツジの紅葉が見頃を迎えている。紅葉は今月末まで楽しめるそうだ。

(令和2年11月6日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-75

ざる菊見頃 富士宮市

富士宮市内房の遊休農地で秋を彩るざる菊(クッションマム)が美しい花を咲かせている。約700株を5月頃に地域住民が遊休農地に移植したもので、11月中旬ごろまで見頃が続くそうだ。

(令和2年11月3日 静岡新聞 朝刊)

秋バラ香りに癒し 熱海の観光庭園

熱海市上多賀の観光庭園「アカオハーブ&ローズガーデン」で、秋バラが見頃を迎えている。日当たりの良い場所から咲き始めており、28日現在で六部咲きとなっており、12月上旬まで約200品種、2000株のバラを楽しめるそうだ。

(令和2年10月2日 中日新聞 朝刊)

秋バラ160株色鮮やか 長泉の彫刻庭園美術館

長泉町東野の「ヴァンジ彫刻庭園美術館」で、秋バラが見頃を迎え来園者がピンクや白、赤など色とりどりの花を眺めながら散策を楽しんでいる。園内には約70種、160株ほどが咲いているが、今年の開花は最近の朝夕の冷え込みなどが影響し、例年より1週間程度遅いそうだ。

(令和2年11月1日 静岡新聞 朝刊)

深まる秋花盛り 浜名湖ガーデンパーク

浜松市西区の「浜名湖ガーデンパーク」の花の美術館では季節の花々が咲き、来園者を楽しませている。11月9日頃から春に向けた植え替え作業が始まるそうだ。

(令和2年11月1日 中日新聞 朝刊)

絶景黄金色のススキ 稲取細野高原

東伊豆町の「稲取細野高原」に群生するススキが見頃を迎えている。東京ドーム26個分の広大な土地に黄金色の野原が広がっている。今年は新型コロナウイルス対策のため山頂までの無料シャトルバスの運行は中止となっているため、高原内の散策は全て徒歩のみだそうだ。

(令和2年10月31日 中日新聞 朝刊)

秋バラ華やか 熱海

熱海市上多賀の観光庭園「アカオハーブ&ローズガーデン」で、秋バラが見頃を迎えた。赤やピンク、白の花々が園内を明るく彩り、来園者を楽しませている。園内には200種、2千株のバラが植栽されており、現在は六分咲きという。秋バラは昼と夜の気温差により、色彩が濃く、香りが長続きするのが特徴だそうだ。

(令和2年10月30日 静岡新聞 朝刊)

コスモス畑笑顔も満開 袋井

袋井市浅岡の複合施設「どんどこあさば」北側などの畑約200㎡で、地元住民らが植えたコスモスの花が見頃を迎えている。29日には浅羽東幼稚園の年長児36人らが散策に訪れ、花摘みをするなどして楽しいひと時を過ごした。花は11月上旬まで楽しめるそうだ。

(令和2年10月30日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-72

イチョウ色づく 浜松

23日は、草木に霜が見られる頃とされる二十四節気の一つ「霜降(そうこう)」にあたり、浜松市中区にある浜松学芸中・高校東側の国道152号線沿いでは、黄色く色づき始めたイチョウ並木が秋の深まりを告げている。

(令和2年10月24日 中日新聞 朝刊)

赤ソバの花見頃 浜松

浜松市西区の「はままつフラワーパーク」では、赤い花を咲かせるソバの品種「貴嶺(たかね)ルビー」が見頃を迎え、来園者に秋に深まりを告げている。花は11月上旬ごろまで楽しめるそうだ。

(令和2年10月23日 静岡新聞 夕刊)

緑や樹木に関する記事 20-71

甘い香り 秋バラ見頃

河津町峰の町営バラ公園「河津バガテル公園」で、秋バラが見頃を迎えている。今年は台風の影響もなく、ほぼ例年どおり開花が進んでおり、11月中旬すぎまで、色とりどりの花々を楽しむことが出来るそうだ。

(令和2年10月22日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-70

新居の名園 住民が維持

磐田市出身の世界的造園家・中根金作が手掛けた「市老人福祉センターにある枯れ山水庭園」の手入れに住民有志が奮闘している。中根氏は当時の新居町長の依頼を受け、まちづくりに携わるようになり、旧新居町の40以上の事業で設計や整備に取り組んだそうだ。

(令和2年10月19日 静岡新聞 夕刊)

香る秋バラ 浜松

浜松市西区館山寺町の「はままつフラワーパーク・ローズガーデン」で、秋バラが見頃を迎えている。バラは今月初旬から少しずつ開花し、朝夕が寒くなるに従い花が増え、ピンク、黄色、赤、白と花壇を豊かに彩っている。秋バラは今月末まで楽しめるが、バラ園が改修中のため、月末まで公開出来るかは未定だそうだ。

(令和2年10月19日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-69

秋バラ多彩 河津で咲き誇る

河津町の「河津バガテル公園」で秋バラが咲き、来園者を楽しませている。園内には千百種、六千株のバラが植えられ、このうち秋咲きの花が赤やピンク、黄色など色とりどりに咲き誇っており、20日前後が見頃を迎える見込みだそうだ。

(令和2年10月16日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-68

コスモス畑見頃 浜松

浜松市東区中野町のコスモス畑が見頃を迎えている。畑は国道1号線浜松バイパス中野町インター出口から西に500メートルほどの場所にあり、放棄農地を近隣住民が整備したそうだ。見頃は11月上旬ごろまでとのこと。

(令和2年10月13日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-67

各地でソバの花 満開

富士市の岩本・松岡地区の地域住民が、同地区の耕作放棄地3箇所に植えたソバの花が見頃を迎えている。今年は雨量が多く、日照時間も十分だったため、例年より背丈が大きく育っているそうだ。(1)

浜松市天竜区佐久間町浦川では、ソバの花が見頃を迎えている。地元のNPOが15年ほど前にソバの栽培を始め、今年の刈り取りは十月下旬から十一月初旬を予定しているそうだ。(2)

秋風に揺れるススキの原 裾野

富士山麓の標高900メートルに位置する十里木高原(裾野市須山)では、ススキの穂が風に揺れ、秋の深まりを醸し出している。(3)

(令和2年10月7日(水) (1)と(3)静岡新聞朝刊 (2)は中日新聞朝刊)

緑や樹木に関する記事 20-66

ソバの花満開 静岡

静岡市葵区の中山間地域に位置する大川地区で、耕作放棄地などを活用して十数年前から栽培しているソバの花が満開を迎えた。また、葵区坂ノ上の約5千平方メートルの畑でも、地域で昔から受け継がれてきた在来種のソバの花が一斉に開花している。

(令和2年10月6日 静岡新聞 朝刊)

「黄金のピラミッド」一面に 磐田

磐田市の「敷地里山公園」で、鮮やかな黄金の花「ゴールデンピラミッド」が見頃を迎えている。胸の高さほどに育った茎の先の花は直径 5 センチほどで、葉が細く長いことからヤナギヒマワリと呼ばれることもある。公園内では3箇所で6千本ほどが咲いているそうだ。

(令和 2 年 10 月 6 日 中日新聞 朝刊)

コスモス畑 秋薫る 浜松

天竜川にほど近いは浜松市東区中野町の農地で、コスモスの花が咲き始めた。かつての耕作放棄地 2500平方メートルを地元住民が協力して整備したコスモス畑は、10日から15日ごろに見頃を迎える見通しだそうだ。

(令和 2 年 10 月 5 日 静岡新聞 夕刊)

緑や樹木に関する記事 20-65

秋バラ開花始まる 河津

河津町峰の町営バラ園「河津バガテル公園」で、秋バラの開花が始まり、甘い香りを漂わせている。園内には1100品種、6千株が植栽されていて、現在は一分咲き。10月中旬以降に見頃を迎えるそうだ。

(令和 2 年 10 月 2 日 静岡新聞 朝刊)